

第2部 環境の現況と対策(各論)

第1編 基本的な環境保全施策

第1章 自然環境を保全する

第1節 自然環境行政の総合的な推進 自然保護課

1 自然保護計画の策定

滋賀県自然環境保全条例に基づき定められた「自然環境保全基本方針」の具体化のための長期計画として、景観、自然度、学術的価値などの観点から「すぐれた自然の保護」と、生態系保全の観点から「身近な自然」(里山)などを含めた自然を総合的に保全していくことを目的として、重点目標の設定や保護、保全施策の方向について昭和62年(1987年)に策定し、県土の自然環境保全に取り組んでいるところです。

2 自然環境保全地域等の指定

「滋賀県自然環境保全条例」に基づく滋賀県自然環境保全地域、緑地環境保全地域および自然記念物の指定は、自然公園とならんで自然環境保全行政の重要な施策です。平成14年度末における指定状況は、下記のとおりです。

- 滋賀県自然環境保全地域.....指定なし
- 緑地環境保全地域.....6地域
- 自然記念物.....30ヶ所

3 自然公園等の整備

自然公園は、すぐれた自然の風景地を保護するとともに、適正な利用の増進を図り、国民の保健、休養および教化に役立てることを目的に、「自然公園法」および「滋賀県立自然公園条例」に基づいて指定されています。現在、本県の自然公園は、琵琶湖国定公園、鈴鹿国定公園、三上・田上・信楽県立自然公園、朽木・葛川県立自然公園、湖東県立自然公園の5つです。

表2-1-1 自然公園面積

(単位：ha)

自然公園名	指定年	面積	県土に占める割合(%)	備考
琵琶湖国定公園	昭和25年	95.958	23.9	県土面積 401.736
鈴鹿国定公園	昭和43年	17.113	4.3	
三上・田上・信楽県立自然公園	昭和44年	18.177	4.5	
朽木・葛川県立自然公園	昭和46年	14.342	3.6	
湖東県立自然公園	昭和62年	4.367	1.1	
計		149.957	37.3	

(1) 国定公園

ア 琵琶湖国定公園

昭和25年(1950年)7月24日わが国で最初に指定された国定公園で、琵琶湖の湖水景観とその周辺に連なる山々の山岳景観とからなり、これらが美しくとけ合って、特徴ある景観を構成しています。

湖辺には、近江八景、琵琶湖八景に代表される風景地が数多くあり、比叡山、延暦寺、彦根城、安土城等の歴史的文化財も数多くあります。

また、琵琶湖には、さまざまな動植物が生息しており、琵琶湖にだけ見られる固有種もあり学術上貴重とされています。

近江舞子(志賀町)および宮ヶ浜(近江八幡市)周辺が集団施設地区に指定されています。

イ 鈴鹿国定公園

滋賀、三重の県境を南北に走る鈴鹿山系を中心に指定された自然公園です。

この自然公園の特徴は、藤原岳、釈迦ヶ岳、御在所山、雨乞岳等1,000m級の山々が構成する山岳景観にあり、カルスト地形や花崗岩の断崖絶壁などが奇観を呈しています。

また、この自然公園は、野生の動物、植物相が豊富ですぐれた自然の宝庫です。特に、ニホンカモシカはその代表です。

永源寺近傍(永源寺町)が集団施設地区に指定されています。

(2) 県立自然公園

ア 三上・田上・信楽県立自然公園

田上山地、信楽山地のゆるやかな山並みと、三上山や鏡山を核として指定された自然公園です。

ほとんど花崗岩で風化が進んでいますが、アカマツを中心とする植生と一体となって美しい景観を構成しています。

また、この自然公園は紫香楽宮跡をはじめ、御上神社、太神山不動寺、常楽寺、長寿寺等の歴史的文化財に恵まれています。

希望が丘(野洲町、甲西町、竜王町)が集団施設地区に指定されています。

イ 朽木・葛川県立自然公園

安曇川源流の渓谷と後背地の山々が構成する景勝地で、丹波山地の東端部と、それに続く比良山地の西側斜面からなり、昭和46年(1971年)に指定されました。この二つの山地の間にある花折断層によって形づくられたV字形の谷あいを通り安曇川が流れており、近江耶馬溪とも呼ばれる渓谷美を見せています。

一帯はほとんど山林で、一部に残る天然林を中心に野生動物の良好な生息環境となっており、ツキノワグマ、ニホンザル、イノシシなどの生息密度が高いところです。

奈良や京都と近く、優れた文化遺産も多くあります。

ブナの天然林として知られる生杉が集団施設地区に指定されています。

ウ 湖東県立自然公園

琵琶湖の東岸に広がる湖東平野と鈴鹿山脈にはさまれた山地を中心に、昭和62年(1987年)に指定された自然公園です。

区域内にはコナラ、ケヤキ、ミズナラなどの落葉広葉樹林、アカマツ、スギ、ヒノキなどの針葉樹林が見られます。また湖東三山に代表される優れた歴史的自然環境が多く見られるほか、湖東流紋岩、花崗斑岩、古琵琶湖層群などの特異な地形地質が分布しています。加えて各河川の溪流は、今なお美しい姿をとどめているところが多く、哺乳類、鳥類、昆虫類などが多く生息しています。

(3) 自然公園の利用と管理

自然公園の利用状況は、図2-1-1のとおりですが、観光地を多く有する琵琶湖国定公園の利用者数が多数を占めています。

シーズン別の利用状況は、水泳、登山利用等を中心とする夏期が最も多く、スキー場等冬期の利用施設もある琵琶湖国定公園は、年間を通じて利用されています。

図2-1-1 自然公園の利用状況(観光客利用状況調査による)

